日新

での水俣病患者自身の話に補足・構

てしまった根の深い問題だ

でもちろん、

建鎖の中で思いがけぬ結果をもたらし 氷めての人間の行動が、 自然界の食物

水俣病の直接の原因である有機水銀の

出は止められたが、文明の方向は、

八年に開催された「水俣・東京展」

でもそれは違う。本哲は、一九九

11版 9

2000年(平成12年)2月27日(日曜日)

本と出会う 批評と紹介

標題を見ただけで、 多くの方がさまざ

中村

桂子

評

盲

水俣病

いにつなげている人がほとんどだ。この

しく惡せる社会を作って欲しいという願

れてしまい魂のゆくえがないがしろにさ

めに、政任の意味や内容まで仕組み化さ

れてしまう時代だという指摘は鋭い。

とくに若い人に読んで欲

呉当な提案を、今私たちがきちんと受け

止められなかったら未来は暗い。

なる恨みに止めず、すべての人が人間ら ある。あって当然だ。しかし、それを単更には差別をする周囲の人々への批判は く。もちろん、政府、県、チッソ、 させる哲葉の多いことを指摘してお への感謝など、人間の生き方を考え し、その夫婦を支える支援の人たち

ほかない。ただ、どなたも前向きに っ夫婦関係はみごとというほかない の人生のうちでこの夫婦愛だけは、 生きているところが印象的で、 いては、一つ一つを読んでいただく かける力を強くしている。内容につ 淡々と語られているのが却って訴え 文になったものを読むと、どれもが 配録だ。現場ではどうだったのか 実と率直な気持を語っている负重な の中、十人の方が東京まで来て、耶 あり、進んで発音する人は少ない中、 成したものである。患者には差別も ただひとつ得られたものです」とい また体が悪く移動も大変という状況

> 費・大量廃棄から抜け出ていない。こ 今もまだ石油依存の大量生産・大量消

れを続けている限り、同じような問題

中嶋

嶺雄・

選

と処理の仕組みを作るのに懸命になるた う一人のチッソだと気づく。 巨大なシステム社会であ 狂って考えた」結果行きついたのが、 わからないという体験から、「狂って がコロコロと変って闘う相手が何かが 問へと変る。加容者として接する相手 え直す必要がある。 こにその本質をついている。 恨みが疑 たが、生命を粗末にしてきたことを考 イドという含葉とは少し違うと思うの 見ではなかろう。序章にあるジェノサ 最終章の緒方正人さんの考えは、ま 起きる危険は常にあると言っても過 り、自分もも 事が起きる

い。水俣病という「事件」は、その公式 うことだろう。 を思者にする話など聞きたくもないとい 発見から四〇年を経過した一九九五年に る。その中には拒絶反応もあるに違いな まな反応をしているだろうと想像でき 過去のことを持ち出し、 政府や県や企業 感を表明し、 一時金も支払われて解決し にということになっている。今更そんな 一最終解決案」が出されて政府が遺憾の

ち、更には生きものとしての て始めたのが生命科学である。弟子であ やすい社会にはならないと考えた。そし る私も一緒にその問題を考え始めたと 豊かさだけを求めたのでは決して暮らし せずに、効率よい大量生産による物質的 菜の重要性は認めたうえで、 心のメッセージであり、私も 一九七〇年、私の先生は、科 破壊の問題)だった。よりよい生活を 病と「沈黙の容」(殿薬による生態系 大きな話題になっていたのが、水俣 生きものた 人間を理解

が、これは事件ではない。こ (岩波新書・6 60円) れこそが本

この人・この3冊

€沢東伝

(貝塚茂樹著/岩波新書/品切れ)

❷毛沢東 その詩と人生

(武田泰淳、竹内實著/文藝春秋/絶版)

②毛沢東主義

(アイザック・ドイッチャー著/山西英-/新潮社/絶版)

でも、百冊近くが並んでいる。 密的革命家であった。彼は、 (の多くにとって、 偉大な理 連社会主義が陥った非人間 かつて毛沢東は、日本知識

ど、毛沢東神話の形成に与か 自身の著作を除く伝配類だけ 録』や『実践論・矛盾論』、 **陣を見てみると、『毛沢東語** 残骸をとどめている。私の街 った膨大な壁の著作は、今も 大きく変わってしまったけれ 赤い皇帝への呼価は、 『毛沢東選集』などの毛沢東 自

手。宋東 まわした毛沢東。現代中国の 全中国の隅々までをひっかき 二十世紀の世界を、そして

さであった」と結

一方、武田の共著者・竹内 質は『毛沢東 その時と人生』 (六五年)で毛沢東の時心を 現代中国史の各断面で照射するかたちで薀蓄を傾けて論じ ていただけに、現時点での竹 内の意見を聞いてみたい。 国際的には、これらの毛沢 東評価とは全く異なる毛沢東 論もあった。「母き蛾たちの 皇帝」と副曜されたハンガリ ーからの亡命知餓人G・パロ ーツィ=ホルヴァートの『毛 沢東伝』(欝談社文庫)がそれである。そして『トロツキ ー伝』三部作で知られるドイ ッチャーは、『毛沢東主義』 (六五年)で「毛沢東主義』 (六五年)で「毛沢東主義」 (六五年)で「毛沢東主義」 (六五年)で「毛沢東主義」 若き日の私自身に 「この人・この3冊」は、東京外 批判。著書に文化大革命を権力闘争 の大衆運動化と論じた『北京烈烈』 た。1936年、長野県生まれ。64年の をはじめ『中ソ対立と現代』『知識

ネール』、要協 んでいる。 歯評の清水徹氏は仏文学者、近著 に『書物の夢 夢の書物』『読書の ユートピア』など▽中村桂子氏はJ

照らして本格的に した毛沢東像を由 方郎著 『スター: た(猪木正道・竹 ている」と毛沢東

里柴三郎 破傷風菌論』『食卓の上 氏』 のDNA』など▽渡辺保氏は演劇評 論家、淑徳大教授、近著に『歌右衛 T生命誌研究館副館長、近著に『北 門伝説』『芸の秘密』など▽鹿島茂

生きして見える 沢東)の文章は

かにも生き

間性に残虐を立る

し民主主義の實現

つもない」「か

σ

和田

国語大学長の中嶋嶺雄氏にお願いし 『現代中国論』で「毛沢東思想」を 人と論壇』などがある。

のは、この毛沢田 が毛沢東伝におい 六年)であった。 のが貝塚の『毛沢 硬骨の中国文学 た。このような る民衆的指導者 的な独裁体制の 者・竹内好の 毛沢東像は、 と映ったの

に ふ 真